

平成27年度 総合科学コース1年 特別講義

「放射線の基本と最近の研究 ―放射線を測定しよう―

神戸大学 学友会常任幹事, 神戸大学 非常勤講師 原 俊雄 先生

1月25日(月) 13:20~15:10

今回の特別講義では、放射線の正体は一体何なのか、放射線測定の基本から丁寧にお話していただきました。実際に教室の自然放射線を放射線測定器で観測し、自然の状態でも放射線が飛んでいることを実感することができました。大気中や地殻中のラドンやラジウム、ウラン原子核が壊れるときに放射線が出ることも、わかりやすく教えていただきました。

放射線に関する最近の研究では、日本の理化学研究所が発見した113番元素に触れられ、あきらめずに高い質を求めて進むことの大切さ、一番手だけに栄誉が与えられる科学の厳しさを語っていただきました。

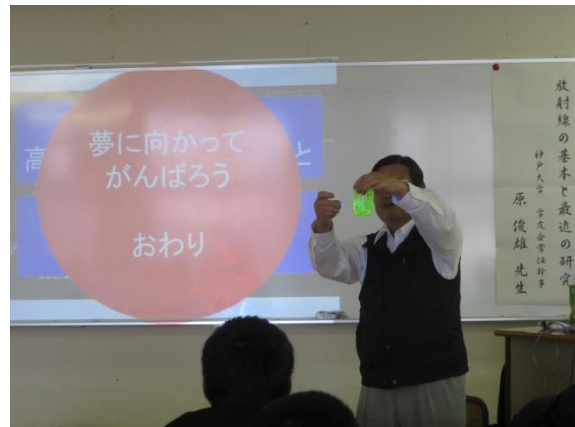
生徒への質問が多い参加型の講義で、興味を持ってお話を聞くことができました。

<生徒の感想より>

- 私は初めの質問で、「放射線はこの教室にあるのか」と聞かれてないと思っていたし、放射線は少しでも浴びると体に悪いと思っていたけれど、どこにでも放射性物質はあって、少しくらい浴びても体には影響しないことが分かったので良かったです。
- 実際にガイガーミュラー管を使って実験をしてみて、1分間に60回ぐらい音がして、その分体に放射線があたっていると知ってびっくりしました。
- かなり難しいことを学んだが、今後の物理に生かせそうでよかった。もっと放射線について深く詳しく学びたいなと思った。
- 日本の研究は、アメリカやロシアの研究に勝ち、113番目の元素の命名権と記号の決定権が与えられたのがとってもすごいなと思いました。



放射線って何かわかりますか？



ウランガラスの放射線を測ってもらいました。